

# 文学部・文学研究科 学術研究発表会

2014年4月19日(土)

時間:10:00~15:30

会場:リバティタワー1113・1114 教室

## 第1会場 リバティタワー1113教室(11階)

①10:00-10:30 伊與田 麻里江 (日本文学)

山東京伝『忠臣水滸伝』における兼好法師の  
描写—伝記小説介在の可能性—

②10:30-11:00 落合 修平 (日本文学)

芥川龍之介における「眼に見るやうな文章」  
について

③11:00-11:30 金木 利憲 (日本文学)

「宇宙」の起源と意味の変遷  
—漢語と近代科学用語の間—

④11:30-12:00 田村 悠 (日本文学)

大正期谷崎文学の諸相

\*\*\*\* 昼 食 (60分) \*\*\*\*

⑤13:00-13:30 千田 実 (日本文学)

夏目漱石の文学論における科学

⑥13:30-14:00 朴 知恵 (日本文学)

中世における信解品の受容

⑦14:00-14:30 早澤 正人 (日本文学)

「羅生門」生成過程の考察  
—山梨県立文学館所蔵の「草稿ノート」を題材に—

⑧14:30-15:00 八木下 孝雄 (日本文学)

Self-Helpの明治期翻訳二種に見る訳出の様相  
—関係代名詞節を対象に—

⑨15:00-15:30 岡本 光代 (演劇学)

十三代目守田勘弥による『屋上の狂人』上演試論

## 第2会場 リバティタワー1114教室(11階)

①10:00-10:30 石坂 佳美 (日本史学)

平安中期における致仕

②10:30-11:00 鈴木 裕之 (日本史学)

平安中期の掃除について

③11:00-11:30 須永 忍 (日本史学)

古代上総国の氏族についての一考察  
—山辺郡・武射郡の古代氏族の特質—

④11:30-12:00 石野 智大 (アジア史)

唐代村落制度記事の再検討  
—『通典』巻33・郷官条を中心に—

\*\*\*\* 昼 食 (60分) \*\*\*\*

⑤13:00-13:30 穴井 佑 (西洋史学)

1650年代ノリッジのローカル・ポリティクス  
—J.コリングズとT.ブレイボーンの対立を事例  
として—

⑥13:30-14:00 藤田 怜史 (西洋史学)

エノラ・ゲイ論争に見るアメリカ合衆国の  
原爆投下認識

⑦14:00-14:30 飯田 茂雄 (考古学)

黒曜石原産地の開発と槍先形尖頭器文化

⑧14:30-15:00 三好 真人 (臨床心理学)

日本における成熟したセルフヘルプ・グループの  
抱える問題

—二つのメンタルヘルスに関わるセルフヘルプ・  
グループにおけるフィールドスタディー—

### 【主催責任者】

文学科: 宮越 勉  
史学地理学科: 川口 太郎  
心理社会学科: 大畑 裕嗣

### 【連絡先】

明治大学文学部共同研究室  
bunkyodo@cmm.meiji.ac.jp